



技連協シンボルマーク
(平成6年7月12日制定)

横浜市技能職団体連絡協議会(略称技連協)とは
市内の技能者(職人)の集まりで、昭和43年11月に
結成されました。

横浜市 技連協だより

第35号 平成19年7月31日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 畠山 滋
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7
電話 045-681-6639 FAX 045-664-9400

平成19年度 横浜市技能職団体連絡協議会総会開催

平成19年度横浜市技能職団体連絡協議会総会が、6月7日(木)午後4時から39団体90名の参加のもと、横浜市技能文化会館2階多目的ホールで開催されました。

平成18年度事業報告と収支決算報告及び会計監査報告を一括して議題とし、全会一致で承認されました。

次に、平成19年度事業計画案と平成19年度収支予算案が提案され、全会一致で議決されました。

役員選任では、永年会長職にありました川上三寶氏のご勇退により、副会長の畠山滋氏が会長に就任いたしました。新副会長として会計理事の小駒精一氏が就任し、新会計理事として常任理事の鳥澤俊子氏が就任いたしました。また、新常任理事に不破野武氏と小岩政次氏が就任いたしました。

各団体の役員退任に伴い3名の新理事が就任しました。総会終了後は、交流会を開催し、各団体参加者による、異業種交流及び情報交換をいたしました。



技連協会長就任ご挨拶

横浜市技能職団体連絡協議会加盟の各団体の皆様には、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

去る6月7日(木)、平成19年度技連協総会におきまして、横浜市技能職団体連絡協議会の会長に選任されました。

我々技能職者を取り巻く厳しい経済情勢の中で、長い伝統を誇る技連協をお預かりすることは、身にあまる重責でございます。

お引き受けしましたからには、一身を徹して精進し「和」の心を柱として、技連協の発展に尽力いたす所存でございます。

この機会にあたりまして、会員団体の皆様には倍旧のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念いたしまして新任のご挨拶とさせていただきます。



横浜市技能職団体連絡協議会
会長 畠山 滋

350万市民がごみ減量・リサイクルに挑戦! ヨコハマはG30

大役を終えて



顧問（前会長）
川上 三 寶

永い間、横浜市技能職団体連絡協議会の会長職を仰せつかり、微力ながら技連協の皆さんのご支援とご協力により、当協議会の運営並びに諸行事を恙なくこなすことが出来ました事に各団体の会員の皆様に心から感謝をし、お礼を申し上げます。

ふり返りますと、技連協を発足する時は、私も若かったですが、初代会長堀万吉さんや栗原幸一さん等素晴らしい指導者のもと職人の世界にも陽の当る場所が必要だし、また、欲しいという皆さんの声に叱咤激励され陽の目を見ることができました。

以後、40年の経過の中で、技能職の地位の向上と社会的評価の向上に努力し、認められるようになりました。また、横浜市にお願いして、技能職の設備資金や振興資金の貸付を行うなど充実を図ってまいりました。このような経過の中で技連協の皆様のお手伝いをする事が出来ました事は大変喜ばしく、会員の皆様にお礼申しあげ、感謝いたします。永い間、ありがとうございました。

今後は会員の一人として、まだまだ、皆様と一緒に頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。

平成19年度 横浜市技能職団体連絡協議会役員名簿

(敬称略)

役職名	氏 名	職 種	出身業界
会 長	畠山 滋	洋服裁縫師	横浜マイスター会顧問
副 会 長	塩田 力	板金技能士	横浜市板金組合連合会会長
〃	中澤 俊男	看板製作士	横浜市屋外広告美術協同組合理事長
〃	飯野 忠明	塗装技能士	(社) 神奈川県塗装協会常任相談役
〃	小駒 精一	花卉装飾	神花協横浜地区生花商協議会会長
会計理事	鳥澤 俊子	婦人服裁縫師	神奈川県洋装組合連合会会長
常任理事	菊池 武久	鍼灸マッサージ師	横浜市鍼灸マッサージ師会相談役
〃	石川 泉	和裁師	神奈川県和服裁縫協同組合理事長
〃	小泉 幸男	建具職	横浜建具組合連合会相談役
〃	不破野 武	表具師	神表協横浜表装インテリア協会会長
〃	小岩 政次	クリーニング業	神奈川県クリーニング生活衛生同業組合理事長
〃	佐々木隆行	木型工	横浜市技能職団体連絡協議会青年部相談役
監 事	鈴木 邦彦	美容師	横浜市美容組合連絡協議会顧問
〃	田中 文夫	社交飲食喫茶業	横浜市社交飲食喫茶技能連合会副会長

☆ 理事の変更

各団体役員退任に伴い新理事が3名就任いたしました。

- ・ 横浜豆腐商工業協同組合
理事長 坂大 富作 (前 田中具視)
- ・ (社) 全日本司厨士協会関東総合地方本部神奈川県本部
会 長 宇佐神 茂 (前 井上静男)
- ・ 横浜食品煮豆惣菜組合
理事長 江藤 秋良 (前 鈴木邦夫) (届出順)

☆ 退会団体

- ・ 横浜寝具商工会
※ 理由……会員の減少

☆ 人事異動報告

・ 新 任

- 顧 問 (横浜市副市長) 野田由美子 (6月4日付)
- 相談役 (横浜市経済観光局長) 塚原 良一 (4月1日付)
- 経済観光局雇用創出課担当係長 飯塚 厚 (4月1日付)

・ 退 任

- 顧 問 (横浜市副市長) 本多 常高 (3月31日付)
- 相談役 (横浜市経済観光局長) 佐藤 成美 (3月31日付)
- 経済観光局雇用創出課担当係長 荒川 隆 (3月31日付)

(敬称略)

最近の主な団体活動状況（事務局確認分のみ）

- ◎ 5月15日（火） 第49回庖丁祭
一神奈川県全調理師協会一（伊勢山皇太神宮）
- ◎ 5月25日（金） 第6回通常総会
一横浜市屋外広告美術協同組合一（ナビオス横浜）
- ◎ 6月5日（火） 平成19年度永年勤続表彰式
一横浜市美容組合連絡協議会一（横浜エクセルホテル東急）
- ◎ 7月24日（火） 平成19年度表具技能検定トライアル
一横浜表装インテリア協会一（横浜文化会館 匠プラザ）

青年部の活動

●青年部総会

6月12日（火）横浜市技能文化会館8階視聴覚室801号室で通常総会を開催しました。

平成19年度は四市交流会の当番市になっておりますので、他都市と情報交換をしながら有意義な交流事業を開催すべく、青年部一同一丸となり、頑張っております。

今年度も青年部活動に対して、皆様のご理解とご支援をお願いします。
－青年部一同－

●平成19年度青年部新役員紹介

部長 加納 希夫（スクリーン印刷）
副部長 川上 善紀（建築士）
〃 佐久間一郎（板金技能士）
会計 小宮山哲也（豆腐製造業）
書記 関 清隆（建具職）

●青年部研修旅行

横浜建具組合連合会 関 清隆

5月11日（金）～13日（日）、青年部研修旅行を実施しました。月々、各人が積み立てをしながらの旅行は大変有意義で、また、大変楽しいひと時でもありました。



午後4時30分のフライトでしたが、天候にも恵まれ、離陸後の窓の外には、横浜港～三浦半島～湘南～箱根～駿河湾～紀伊半島と続き飽きることなく日本地図を思い浮かべては、全く同じに見える大パノラマに感激しました。何といたっても、富士山の全景が上空から見られたのが良かったです。あの美しさは、何とも言えず、ただ見とれてしまいました。そんな心地よい気分で、一路沖縄へ・・・。



午後7時到着。まだ明るく気温26度で湿度も無く、心地よい風が吹いていて、南国に来たと感じました。空港から、レンタカーで那覇の国際通りに出かけ、夕食をとりました。目の前でステーキを焼く料理人が塩と胡椒の容器を両手に持ち、肉にジャグリングを始めた職人技に驚いたり、更に、ステーキのボリュームと美味しさにも驚きました。

食後は宿泊先の「恩納村」のムーンビーチに向かい、明日からの沖縄での楽しいひと時を期待しながら、眠りに就きました。

今回の旅行で感じた事は、時間の流れがゆるやかで、のんびりとした南国時間というか、沖縄時間というものを感じた2日間でした。

お互いに、日頃の忙しい毎日を忘れ、こころを碎き、いい研修旅行となりました。このような機会が与えられた事に感謝いたします。

ハマの技—発信地 技能文化会館『匠プラザ』から

技能文化会館では技能職者支援振興事業など技能職者の『技』を一般市民の方に「見て」、「体験していただく」ための『職人から学ぶ講座』や各種『技能体験イベント』を匠プラザの中で開催しています。参加された方々からは大変好評を得ました。今年度も横浜市技能職団体連絡協議会加盟団体49団体5万5千人の会員の皆様と共に、横浜の技能職者の文化と技能にスポットをあてて技能職振興及び後継者育成のために力を注いでいきたいと思っております。



トピックス

横濱編集局『匠プラザ』へようこそ！

去る7月12日（木）、テレビ神奈川、毎週土曜日、週間「見・聞・録」という番組の中で、特集『ハマに技あり』の収録のため「横濱編集局編集長」中田宏市長が匠プラザを見聞録のために来館してくださいました。匠プラザ内の道具の展示や職人の技の紹介、「職人から学ぶ講座」の講師団体でもあります横浜表装インテリア協会の掛け軸の表装について実際に体験していただきました。

その他に、「和服裁縫士から学ぶ浴衣の縫い方」と「プロから学ぶ日本料理のコツ」が講座開催中でしたので、こちらも紹介していただきました。オンエアは7月28日（土）18時00分～18時30分でした。

平成19年度「職人から学ぶ講座」から

受講生の声

☆「和服裁縫士から学ぶ浴衣の縫い方」 5月15日（火）～7月17日（火）全10回

- 先生の指導がわかりやすかった。
- 大変参考になり、中身の濃い授業でした。
- 着物が出来上がって大変嬉しかったです。本当に良く色々と教えて頂いてありがたかったです。出来ましたら、これから孫の着物を作りたいです。
- 着物にあまり触れる機会がなくなったこの頃、縫いたいと思っていても身近に教えてくれる人がいなかったもので…。こうやって一度限りでも教えていただけると助かります。これから着物を買う参考にもなりました。
- 大変勉強になりました。家にある布地を浴衣にすることが出来、嬉しく思いました。和裁用語を知ることが出来ました（名称と位置が一致した。）
- 自分の寸法で作らせてもらったのが良かった。先生も親切で、わかりやすい説明等うれしかった。少し人数が多かったので、ヘルプが入ってくれた日はやりやすかった。
- 一度も自分で縫ったことがなかったので、最初は戸惑うことばかりでした。10回で縫い終わり、形になってきたら、大変良かったです。もう一度この講座にチャレンジしたいです。



講師講評

—神奈川県和服裁縫協同組合— 講師 石井 美智子

初心者が「浴衣」の講座を10日間で仕上がることを願って、一日、一日を大切に、毎回、同時進行が出来るようにと計画しました。

年毎に感じることは、「きもの」の和裁用語をどう伝えたら理解してもらえるかということです。「職人から学ぶ講座」ということを考え、やさしく縫うということもありますが、職人としての仕事は、しっかりと伝えたいと思っています。

受講生の皆さんが、毎回、一生懸命、黙々と仕上げに向かって頑張っている様子を思うと、10回目に仕上がった浴衣を着て、帯を付けていい笑顔を見せてくれることがなによりもうれしく思います。講師としての最高の喜びのときでもあります。

受講生の声

☆「プロから学ぶ日本料理のコツ」 6月16日(土)～7月21日(土) 全6回

- プロの「技」の手元を直接見ながらの講座は、大変良かった。
- 身近な食材を使って、おいしく、おしゃれな料理は最高でした。
- 普段つい買ってしまうものでも自分で作るとこんなに美味しいということが発見できました。
- 料理の本には載っていないものばかりでとても楽しかった。
- 周りの方とのコミュニケーションがとれた事もうれしかった。
- 食育の勉強をしているので、仲間にプロのコツを伝えていきたいと思います。
- 早速、家に帰って作り、家族に喜んでもらっています。
- 毎日がとても楽しく、「日本料理のコツ」はもちろん「ポイント」と「応用」についても指導してもらいました。
- 「日本料理」は素晴らしいと再認識させられました。
- 「日本料理」こそ「日本の文化」と思います。



講師講評

—神奈川県全調理師協会— 講師 島田 和気男

この講座で習った料理を家でやっていたら聞いて大変うれしく思います。また、受講生が自分のアレンジを作ってきてくれたのを、味見させてもらい、私も勉強になりました。料理は、毎日の積み重ねだと思います。1種類よりも10種類とたくさん料理の数をこなした方がおいしくなります。あとは、真心をこめて作れば、必ず、食べる人に通じると思います。四季折々の材料を工夫して、旬のものを「食」していただきたいと思います。この講座を通して、少しでも「食」にたいする意識が変わって、料理の技術を高めてもらいたいと思います。

受講生の声

☆「プロから学ぶおいしいコーヒーの入れ方」 6月17日(日)

- 様々な入れ方を教えてもらい、楽しい時間を過ごすことが出来ました。
- 朝、目覚めに毎日コーヒーをいれてますが、まずいコーヒーをいれていた事を知りました。明日の朝は是非うまいコーヒーで目覚められるように… どうもありがとうございました。
- 具体的な指導をいただき、理解しやすかった。今後、楽しみたい!
- コーヒーの知識がえられ家庭で美味しいコーヒーを楽しみ、優雅なひとときを味わいたい。
- 自分の常識が非常識でした。
- コーヒーが好きなので、楽しかった。
- とてもわかりやすく説明していただき、よくわかりました。ありがとうございました。
- プロはプロの味、素人は素人なりに努力した味を目指そうと思いました。頑張ります。
- コーヒーは奥が深いと思いました。デモンストレーションが近くで見れてよかったです。
- コーヒーの奥の深さが解りました。



講師講評

—横浜市社交飲食喫茶技能連合会— 講師 中山 晃

ここ数年来、毎年、当講座を担当させていただいております。今回は、私も慣れてきたせいか、受講生の皆さんと和やかな雰囲気の中で、講座ができたように思います。

受講生ひとり一人が熱心に一つでも多くのことを学び、私どものプロが入れたコーヒーを「おいしい」と言って試飲してくださって、少しでもプロの味に近づけようと何度も何度も挑戦している熱心な姿に感動しました。

そんな姿を見ていると、ご家庭で、おいしいコーヒーを作って、ご家族の皆さんが、笑顔で団欒している様子が伝わってくるようでした。

ご参加して下さった皆さんありがとうございました。

また、この講座を企画して下さいました事務局に感謝申し上げます。

下記講座も開催しました。

☆「プロから学ぶおしゃれなカクテル作り」 7月29日(日)

—横浜市社交飲食喫茶技能連合会— 講師 山本 津代志

☆「ふとん屋さんから学ぶ体にやさしい枕作り」 7月30日(月)

—横浜マイスター会— 講師 松谷 昇

職人から学ぶ 技能実演体験イベント「篆刻の世界」

6月10日(日)、1階匠プラザにて開催いたしました。

篆刻は昨年に続き2回目の開催となります。梅雨の雨混じりの中、参加者は午前30名、午後30名の定員をオーバーするほどの盛況で、神奈川県印章業組合の10人の講師の方々から丁寧に石の印の彫り方を教えていただき、世界に一つだけの自分の「印」を作ることが出来てみなさん大喜びでした。



平成19年度 職人から学ぶ講座

今後の予定 8月～10月

- ▽「お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作り」 8月
- ▽「時計屋さんから学ぶ親子時計作り」 8月
- ▽「板金屋さんから学ぶ親子表札作り」 8月
- ▽「プロから学ぶネイルアート」 9月
- ▽「婦人服裁縫師から学ぶスカートの縫い方」 9月
- ▽「プロから学ぶおしゃれなカクテル作り パートⅡ」 10月
- ▽「プロから学ぶ手結び着付け入門」 10月
- ▽「プロから学ぶペンキ塗りのコツ」 10月

今後も技能職者の方の素晴らしい「技」を広く知っていただくために、「職人から学ぶ講座」を開催してまいりますので、まだご参加いただいていない団体がありましたら積極的なご参加を事務局までご連絡ください。お願いいたします。

※11月以降の予定は次号でお知らせいたします。

事務局から

▼横浜市技能文化会館指定管理者

(株) ファンケルホームライフ
代表取締役社長 八木 哲雄

昨年7月より横浜市技能文化会館指定管理者(株)ファンケルホームライフが、技連協事務局をお引き受けしてから、早いもので1年が過ぎました。事務局には、以前から長く技連協事務局を担当しておりました職員がいましたので、事務局としては、難なくスムーズに仕事をこなす事ができました。これも、技連協の各団体の皆様のご理解と数々のご支援の賜ものと深くお礼申し上げます。

今年度は、この1年間の経験を活かしながら、私どもでも出来ることは、精一杯頑張っております。

特に、来年度は技連協発足40周年になります。記念事業は微力ですが、皆様とともに盛り上げていきたいと思っています。節目の年にふさわしくしたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

▼「技連協だより」では、今後も各団体の活動や技能職に関する情報を紹介していきます。各団体で行った研修会、イベントや記念式典・大会など情報のご提供をお待ちしております。

※詳しくは、広報情報誌「はま情報」「各区版」及び区役所配布チラシ及びホームページ横浜市技能文化会館・「横浜市技能職団体連絡協議会」「匠プラザ」「職人から学ぶ講座」をクリック！

後継者育成に向けて

健康管理講座開催について

横浜市鍼灸マッサージ師会
会長 荒井 務

当師会では、技能の向上と後継者育成の一環として、年間 9 回の学術講習会を技能文化会館で開催しています。

厚生労働省では介護予防政策が推進されています。それを踏まえて、業界では、介護予防指導者研修会を開催し、我々の「技」が地域住民の健康管理に寄与すべく積極的に、後継者育成を行っています。8月9日を「^{はり きゅう}鍼灸マッサージの日」と定めています。

来る8月5日（日）には、「はりきゅうマッサージの日」のイベントとして一般公開講座を開催します。一般の方々に健康への関心と理解をもっていただくためのものです。どなたでも参加できます。

開催場所：横浜市技能文化会館 2階ホールにて午前10時～。

問合せ先：横浜市鍼灸マッサージ師会 TEL 045-242-7790

※皆様のご参加をお待ちしています。

環境問題に対する意識の高まりの中で

横浜市豊組合連合会
会長 芦原 将

当組合では、後継者育成のために後継者並びに新規組合員に『もの作り継承塾「豊」』のカリキュラムを作り2ヶ月間に渡り講習会を開催しています。毎年8月には一般の方にも参加していただく「もの作り体験コーナー」や、11月には「技能フェスティバル」等で豊実技講習と展示教室を開催しています。

近年の環境問題の意識の高まりの中で、い草の二酸化炭素等有害物質の吸着効果等「豊」の持つ環境浄化機能が見直されています。

身近な暮らしの中から自然環境について、特色ある教育活動を応援するために学校等で子どもたちに豊教室に参加してもらい、「職業体験学習」の中で「豊ござ」の縫製を体験してもらっています。

短時間の作業ですが、仕事面の大変さや厳しさや、出来上がった作品の満足感や達成感など貴重な体験談なども話し合っています。



編集後記

ーアメリカの職人からー

以前、アメリカの同業者を訪問した時に感じた事である。デトロイトとロスアンジェルス計3社の同業者を回りながら、いろいろ考えさせられた。一人の作業スペースがとても広く取ってあり、専用の作業台と工具に囲まれ個々の孤立したスペースになっていた事、何人かで共同作業ができるスペースも別に設けられている事、工場内がとても綺麗で整理整頓されていたのが印象的でした。その中で職人達がのびのびと誇りを持って仕事をしているように感じた。

その要因は我々の業種（木型～工業製品の試作開発に携わる業務）が非常に良い単価を取っている事、それに伴い職人の社会的地位が確立され、収入もかなり良い事、会社も職人の労働環境をキチンと整備しないと居ついてもらえないからしっかりと対応している事等が挙げられる。

私は、残念ながら、欧州に行った事はありませんが、ドイツなどでは有名なマイスター制度があり、彼らの社会的地位は弁護士にも劣らない程と聞く。だから、後継者も多く、「もの作り」の現場が衰退しないのだと思う。それに比べ、日本の職人のおかれている現状は後継者不足、高齢化等、我々技能職者にとって深刻な悩みであります。

我々の自助努力もさることながら、行政を巻き込んだ社会全体での意識改革が必要ではないかと考えます。

わが国は、資源も乏しく食料も十分に自給できず、「良いものを作り」「良いものを売る」事で、国の根源が支えられていることを国民一人ひとりが忘れないで欲しいと節に思います。

編集委員 青年部 佐々木隆行（木型工）

第28回 よこはま技能まつり

日 時：9月30日（日）午前10時から午後4時

場 所：横浜公園（横浜スタジアム隣）

横浜市技能職団体連絡協議会

事務局 〒231-8575 横浜市中区万代町2丁目4番地7
横浜市技能文化会館内

☎ 045 (681) 6639 FAX 045 (664) 9400
事務局担当 八木 哲雄 佐野ふじ子

〔技連協だより編集委員〕

石川 泉（神奈川県和服裁縫協同組合理事長）

鳥澤 俊子（神奈川県洋装組合連合会会長）

佐々木隆行（横浜市技能職団体連絡協議会青年部相談役）